

令和4年度 自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 みどりのかぜ北ウィング

当園では、子ども達の健やかな成長と安全確保、また、職員一人ひとりの資質向上を図るため園独自のチェックリストを活用し、定期的に点検を行っています。

今後ますます地域に根ざした施設となり、皆様に安心していただけるような環境を整え、子ども達のために職員一同意識を高めていきます。

Ⅰ、自己評価

(1) 教育・保育の質向上について

○保育教諭の教育・保育の質を向上のため、園内研修・外部研修・オンライン研修・キャリアアップ研修等に参加し、自らが学び、学んだことを情報共有したり日々の保育に活かしながら、教育・保育の充実を図った。園内研修では、各クラスの教育・保育を見合い、感想や意見をもとに協議することにより改善策や今後の保育の在り方を見つめなおすことができた。また、姉妹園のみどりのかぜエデュカーレと連携し、未満児クラスの「食育」について学び合うことにより、子ども達へより良い配慮をすることへと繋がった。

- <改善策>
- ・今後、子ども主体の保育活動が展開できるよう子ども達の発する言葉や興味を汲み取り、保育内容や環境構成の見直しをする。
 - ・食の大切さをつたえるために食材について分かりやすく伝えたり、食べ物を大切にし、作ってくれた人への感謝の気持ちを育めるようにしたり、五感が育つ食育を取り入れていく。
 - ・地域や子育て世代の方々に自園の教育・保育を見ていただき、評価していただくことにより質の向上を目指す。

(2) 保護者対応について

○園だより、玄関掲示、おがスマ配信を有効に活用し、保護者への情報発信が遅くならないよう努めた。また送迎時に保護者とコミュニケーションを密にすることにより、更に園の方針と保護者の思いが近づいてきたように感じた。また、電子決済他、ICT化についても丁寧に対応することで、保護者がスムーズに移行することができた。

- <改善策>
- ・保護者への対応は、保護者の方がどう受け取るかを、相手の立場になって考え発言し対応することを心掛ける。
 - ・保護者からの意見、要望、苦情はどんな些細なことでもしっかりと記録をとり、迅速に解決するようにする。

(3) 防災対策と危機管理意識について

○災害や感染症、事故等については朝礼や職員会議で情報を共有し、学期末にはその中の一つを

職員で話し合い、意識を高められるよう努めた。しかし、ヒヤリハット事例が昨年度よりも多くあったため、職員間の共通理解や環境構成に課題がある。

今年度も新型コロナウイルス感染症について姉妹園で話し合い、ガイドラインの見直しや保護者への情報提供を行った。

- <改善点>
- ・定期的に遊具や玩具の破損や不具合の確認や修理を行い、危険な場所を確実に職員で認識し危機管理に努める。
 - ・毎月の避難訓練に加えて、職員が国内の情報に常にアンテナをはり、子ども達にその日にあったことをその日に伝えることにより、みんなで「命を守る」意識を高めていく。

2, 自己点検の分析

(1) 職員の意識改革

○業務遂行のために担当者だけでなく、全ての職員がコミュニケーションを取りながら職務に取り組む姿が見られるようになった。職員の良い所を認め、それぞれの得意とすることを発揮し、「初心を忘れずに」共に成長していきたい。

(2) 保育における子ども理解

○乳幼児期の成長過程を踏まえながら、子ども一人ひとりを認め、褒めることを大切にしていきたい。また集団生活での人間関係を通して、自立と協調性を育むことができるような配慮の中で保育をすすめた。今後は子どもの日々の生活や遊びの過程を見守り、言葉がけすることにより精神が安定するような雰囲気づくりや環境構成を心がけたい。

(3) 保護者との関わり

○保護者と信頼関係を築くために、保護者から発信されたことは思いに寄り添い傾聴し、心を込めた対応が大切である。保護者への関わりは個人的な見解で対応せず、職員全体で情報の共有を図ることにより、園の理念や方針が伝わるように努める。

(4) 危機管理

○園内外で起こる事故やケガに関しては、ヒヤリハット事例を分析することで、職員配置や環境構成を工夫したり、職員間の情報の共有、申し送りの徹底により再発防止に努めていく。

3, まとめと今後の展望

今年度、園内研修等で学びを深め、職員一人ひとりが自分の保育を振り返ることにより、多くの成果を得ることができた。今後この学びと園の理念や方針の基本となる「保育クレド」を生かし職員全体が同じ思いで子ども達に寄り添い、子ども達の生きる力を育てるために、その子らしさを

大事にしながら保護者と一緒に子育てをしていきたい。

また、子育て支援センター「ウィンディー」・一時預かり事業・放課後児童クラブや姉妹園と共に行っているつながり食堂「ほっこり」を通して地域に根ざした園となるべく、子育て支援の充実のため、様々な世代の方々にも働きかけるような取り組みを展開していきたい。